



MYタウン

赤坂青山

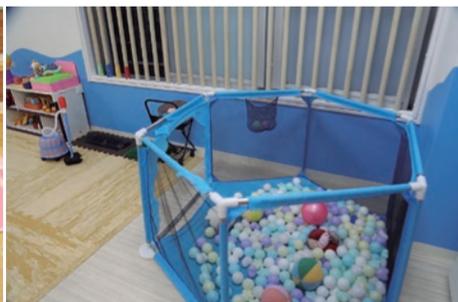
AKASAKA AOYAMA

[特集①]

レトロな建物めぐり

今も輝き続ける歴史的建造物

地元ならではの
旬なトピックスを
お届けします!



[特集②]

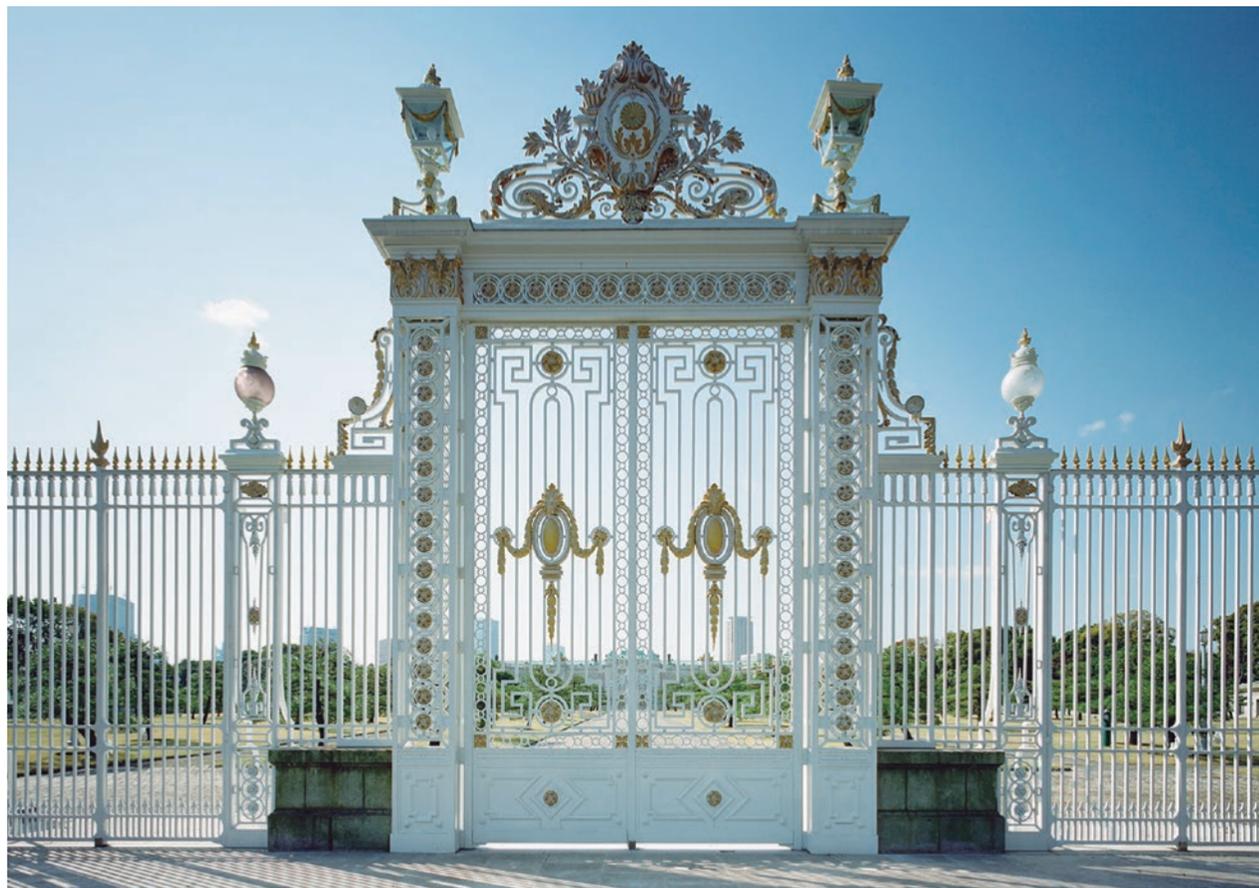
地域の
認可保育園・
保育室を紹介

特集①

レトロな建物めぐり

今も輝き続ける歴史的建造物

近くにあるのに敷居が高そうで、一度も足を運んだことのない由緒ある建物やレトロな館などをクローズアップ。その魅力と見所をお届けします。



鉄扉の正面上部に施された菊の紋章が印象的な正門玄関。正面外柵は全長約160mあり、通る人の目を引きま



本館を眺めながら、前庭でお茶会も楽しめます。スコーンやキッシュ、タルト他、世界の紅茶がいただけます（申し込みはHPから）

迎賓館赤坂離宮

日本で唯一のネオ・バロック様式の宮殿建築物

ここ迎賓館赤坂離宮が、平成28年(2016)から通年で一般公開されていることをご存知ですか？ ベルサイユ宮殿を思わせるネオ・バロック様式の本館の外観、四季折々の花と噴水の競演が見所の主庭、そして天井画や、逸品ぞろいの調度品で整えられた本館内の各公用室などが、西門で受付(要参観料)をすれば、誰でも参観することができます。また、和風のおもてなし施設である和風別館「游心亭」も事前予約すれば参観することができます。

元は明治42年(1909)に、のちの大正天皇(当時は皇太子)のお住まい、東宮御所として建設されたもの。戦後、皇室から国に返還され、昭和43年(1968)～49年(1974)の大改修工事を経て、



日本に数台しかないといわれ、皇室の方々にも演奏されたエラールピアノの演奏会が「羽衣の間」にて、年に数回開催されています。事前予約制(抽選)。令和5年(2023)2月は、バッハを中心としたプログラムで演奏されました



四季折々の花が咲く主庭中央には噴水があり、サツキが真っ赤に染まる5月頃は噴水とのコントラストが美しい

現在の迎賓館になったもので、110余年の歴史があります。

本館では、海外からの賓客を迎える荘厳な「正面玄関ホール」や「中央階段」、「2階大ホール」に加え、4つの公用室、「花鳥の間」「彩鸞の間」「朝日の間」「羽衣の間」を見学でき、各部屋にいるボランティアガイドさんが気になった点を解説してくれます。

また、前庭では美しい本館を眺めながら、優雅にアフタヌーンティーを楽しめたり、迎賓館所蔵のエラールピアノによる演奏会をはじめとした特別企画が開催されており、イベント情報は公式HPやTwitterから確認できます。

海外からの賓客を迎える玄関ホールから中央階段、大ホールへと続く壮観な内装が、訪れる人を魅了します



奥行きのある空間を演出する10枚の大鏡が狂卷の「彩鸞の間」。鸞は平和な時に現れるといわれる、古代中国の想像上の鳥のこと



DATA 迎賓館赤坂離宮

元赤坂2-1-1
☎03-5728-7788
開館時間：10:00～17:00(本館・庭園)
休館日：毎週水曜日、年末年始
※水曜日が祝日の場合は翌平日が休館



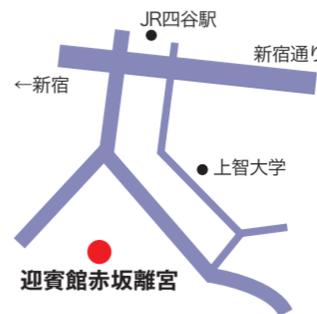
公式HP

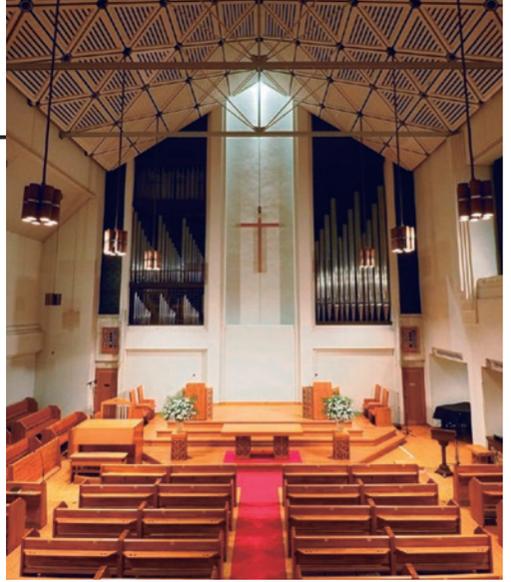


公式Twitter



アフタヌーンティーHP





明るい礼拝堂ではオルガンコンサートなども開かれていて、誰でも楽しむことができます

日本基督教団 霊南坂教会

100年以上の歴史が生きる赤レンガ造りの教会

霊南坂教会は、昭和60年（1985）、アークヒルズ建設に伴い、隣接する現在地に建てられました。大正時代の名建築として知られた大正6年（1917）築の旧会堂は、東京駅を設計した辰野金吾氏によるものです。

現在の赤レンガ造りの外観は、その旧会堂の姿を引き継ぐもの。また内装にも、旧会堂時代の木造の柱や長椅子、照明や飾りガラスなどが多く移

設され、100年超の重厚な歴史が生き続けています。

礼拝堂に続くホワイト一面のステンドグラスに心奪われながら、その先の扉を開けると広がるのが、壮大なパイプオルガンと高い天井を持つ、白く美しい礼拝堂です。

教会は、日曜礼拝や定期コンサート、イベントなどで一般の方にも開放されており、その静謐さを直接感じることができます。



旧会堂時代のものでできるだけ残すように配慮されています



聖書の物語が描かれたステンドグラス



教会の周囲は春になると桜が満開に咲き誇ります

DATA

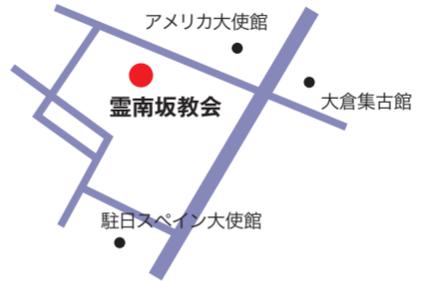
日本基督教団

霊南坂教会

赤坂1-14-3
☎03-3583-0403



公式HP



乃木公園の中に当時の状態を保って保存されています

旧乃木邸

当時の状態がほぼ維持されている貴重な文化財

陸軍大将^{のぎまれのすけ}乃木希典が赤坂に移住し、明治35年（1902）に新築した旧乃木邸は外苑東通り沿い、都会の喧騒の中、静かに^{ただ}佇んでいます。地下1階地上2階建てですが、乃木坂の傾斜を生かした地下階にも光が採り込まれる巧みな構造になっています。

乃木希典がドイツ留学中に見たフランス軍連隊本部を参考にして自ら設計した邸宅は、応接室、来賓食堂、静子夫人や勝典、保典両ご令息の居室など多くの空間からなり、内外装ともほぼ当時の状態が維持されています。質素な造りでありながら多くの訪問客を迎え入れる十分な空間が用意され、女中部屋も居心地の良い配置にするなど、乃木希典の合理性や優しさをうかがうことができます。

赤坂に残る貴重な文化財として、末永く後世に伝えていきたいですね。



本邸だけでなく、馬小屋も当時のものが残されています



DATA

旧乃木邸

赤坂8-11-32
☎03-6384-5113

(高橋是清翁記念公園管理事務所)
旧乃木邸外観、馬小屋、庭園の開園時間：9:00～16:00
休園日：年末年始（12月29日～翌年1月3日）
旧乃木邸内は年3回、一般公開



公式HP



料理場などがあった地下1階は斜面を利用した半地下で、日も入ります



1階には応接室や来賓用の部屋などがあります



赤坂の街の喧騒の中であり、周囲に植えられているバラも見所の一つです。当時の面影が色濃く残る建物の内部では、優雅な結婚式や披露宴もできます

赤坂プリンス クラシックハウス

旧館を改修して完成した英国チューダー様式の洋館

赤坂プリンス クラシックハウスは、かつての赤坂プリンスホテル旧館を移築、保存・改修を経て完成、英国チューダー様式を基調とした^{しやうしや}瀟洒な洋館です。

同館は昭和5年（1930）、旧李王家の東京本邸として、宮内省内匠^{しやうりやう}寮の設計により建設されました。当時の面影を残した雰囲気の中で、食事やアフタヌーンティーを楽しめます。李王家時代の2階は殿下や妃殿下の書斎や寝室でしたが、現在は竣工時の調度品を残した気品ある穏やかで優しい部屋になっており、食事でもできるそうです。

また、例年5月中旬頃から、洋館を囲むように植えられた約90品種・600株のバラが見頃を迎

ます。毎日変わるバラの表情や香りを楽しみながら優雅な時間を過ごしてみませんか。

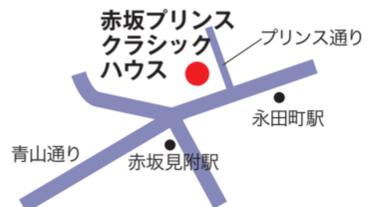
DATA

赤坂プリンス クラシックハウス

千代田区紀尾井町1-2 東京ガーデンテラス紀尾井町内
☎03-6261-1153（レストラン）
レストラン営業時間：平日11:30～22:00 休日11:00～22:30
レストラン定休日：祝日を除く火曜日



公式HP



赤坂・青山の認可保育園や保育室で

特集② 地元で密着した子育てをしたい!

子育て世代が気になることのひとつが保育園探しではないでしょうか。ひと口に保育園と言っても、さまざまな特徴や規模があります。今回は赤坂・青山エリアにある保育園や保育室を紹介します。

赤坂・青山エリアの保育園

【区立】

- ① 赤坂保育園 赤坂 5-5-26-101
- ② 南青山保育園 南青山 1-3-15
- ③ 青山保育園 北青山 3-4-1-101

【私立】

- ④ 赤坂ちとせ保育園 赤坂 4-7-15
- ⑤ 太陽の子赤坂保育園 赤坂 8-12-16
- ⑥ アイグラン保育園青山一丁目 南青山 1-3-1
- ⑦ 太陽の子南青山保育園 南青山 4-1-6
- ⑧ 小学館アカデミー南青山保育園 南青山 4-15-8
- ⑨ 赤坂山王保育園 赤坂 4-1-26
- ⑩ 赤坂クリア保育園 赤坂 4-9-3
- ⑪ おはよう保育園ののおおやま 北青山 3-4-3

【小規模保育事業所】

- ⑫ sakura 保育園 赤坂 2-12-17

【保育室】

- ⑬ 青南保育室 南青山 4-19-18
- ⑭ 第二青南保育室 南青山 4-19-5



訪問しました

② 区立 南青山保育園 南青山 1-3-15

“バディ”と一緒に遊ぼう！ 異年齢交流保育が大きな効果

3歳児、4歳児、5歳児を縦割りクラスにして、さらにその中で、3歳児、4歳児、5歳児が一人ずつ3人で“バディ”を組んで一緒に過ごし、縦のつながりを作っていく……。それが南青山保育園の大きな特徴である「異年齢交流保育」です。

「3歳児はお兄さんお姉さん達にいろいろ教えてもらい、4歳児は年長に憧れ、5歳児は自分が3、4歳児の時にやってもらっていたことをやっ

てあげたいという気持ちに。お世話してもらった年少が今度はお世話する年長へ、兄弟のような親しい関係を築いています」と柴野園長。この2～3年はコロナ禍のため思うような異年齢交流保育ができなかったようですが、遊びを通して思いやりや人と関わる力、自ら行動する力を学び合うなど、その効果は大きいようです。

「クラスで話し合って何をしたいかを決めています。青山地域は緑が多いので、自然に触れる機会も多く、5歳児が蟬の抜け殻を312個も集めてきて紙に貼っていたこともありました」（柴野園長）

3歳児、4歳児、5歳児の縦割りクラスのほかに、0歳児、1歳児、2歳児のクラスもあります。また、地域の子育て支援のために入園前のお子さまを預かる「ぼんだるーむ」も人気です

やってみて失敗したなという体験、今後どうしたらいいかなと考える体験、できたという成功体験、子どもたちがいろいろな体験をするきっかけをたくさんつってあげたいです



柴野園長



園内の廊下は楽しい掲示でいっぱいです。ちなみに運動会は青山小学校の校庭を借りて開催。秋の遠足はバスに乗って、しながわ水族館や芋掘りに行きました

訪問しました

5 太陽の子 赤坂保育園 赤坂 8-12-16



古市園長

ワクワクが子どもの原動力なので、「なぜ？」を大切に、明日も保育園に行くのが楽しみになる保育を日々展開しています

園児の主体性を尊重 “ワクワク保育” をテーマに活動

関東を中心に展開する保育施設「太陽の子」は港区だけで9園を数え、赤坂保育園は平成28年(2016)4月に開園。間もなく丸7年を迎えます。

赤坂保育園の古市園長は「ここでは“ワクワク保育”をテーマに活動しています。園児の主体性を尊重し、彼らが日常の中で興味を持ったことを受け止めて、それを広げていくようにしています」とお

話してくださいました。それは、1人の園児が好きな絵本をみんなに紹介することから、絵の具や廃材などを大胆に使ったアート制作までさまざまです。さらに夏祭り、運動会、劇やダンスの発表会など、親子参加の年間行事も多彩で、まさにワクワクするような活動が多くあり、古市園長を含む19人のスタッフが、園児たちを温かく見守っています。



園児との散歩は、天気が良ければ毎日。「おさんぽまっぷ」には訪れた場所を記録。赤坂駅～乃木坂駅～青山一丁目駅が中心



給食は昼食とおやつ2回。毎月、日本各地の「郷土料理」と他国の「世界の料理」が献立に入っています。季節や行事に合わせた献立もあり、献立表には材料や栄養価が明記されています



赤坂保育園だけで約1000冊。古市園長の好きな絵本作家は「14ひきシリーズ」で知られる、いわむらかずおさんとか

給食も園児に喜んでもらうためにさまざまな工夫がされており、誕生日の園児は、特別な給食でお祝いします

訪問しました

13 青南保育室 南青山 4-19-18

～言葉を大切に～ 自分で考えて行動する人に

空が広がる前庭、思い思いに遊ぶ園児の隣で先生の笑い声。樹木も多く閑静な住宅街の真ん中にある青南保育室を訪問しました。

園児のみなさんは、縦割りチームでの自由な創作活動での多様性や、SDGs目標16「平和と公正

保護者との連絡などにはタブレットも活用しています



をすべての人に」を考える会では「ちくちく言葉、ふわふわ言葉は、どんな言葉かな?」、ハート形と矢で目に見えない“心”を想像し、言葉を通して話し合いで解決することを学んでいます。

港区は教育熱心な方が多いのでと、ポテトサラダを目の前で和えるなどの食育や、ミュージック、アート、スポーツ、イングリッシュの専門講師が来園し、全園児が自由に参加できるアクティビティタイムなど、保護者の期待に応える豊かなカリキュラムが整っているのには驚きました。

卒園後、半数は隣接する青南小学校に入学するそうです。小学校と連携が取られているのは、保護者にとっても仕事を継続する上で素晴らしい環境ですね。



大きな砂場もあり、安心してのびのびと楽しく遊べる園庭



尾崎園長

一人ひとりの想いに寄り添いながら保育環境を提供することが役目です

本のプロがおすすめする この一冊『氷川清話』

赤坂図書館館長 宮田英己さん

宮田館長が「今年は勝海舟の生誕200年ということで、赤坂図書館では海舟に関する特別講座を開催予定しています」と前置きを述べ、すすめてくれたのは勝海舟の談話録「氷川清話」(講談社学術文庫)。旧・赤坂区氷川町に居を構え(赤坂6丁目に旧跡あり)、赤坂に縁が深い勝海舟が、べらんめえ調で明治政府や西郷隆盛などについて語った痛快な本です。「海舟の人となり伝わる楽しい本だと思います」と話す宮田さんは、実は推理小説のファンだが、今回は私事よりも館長という公の立場を優先したご様子。宮田さんの人となりも伝わってきました。



一般企業の営業マンから転職し、図書館の館長になった宮田さん

赤坂図書館

南青山1-3-3 青山1丁目タワー3階 ☎03-3408-5090
開館時間：9:00～20:00 (日曜・祝日、12月28日は17:00まで) 休館日：年末年始(12月29日～1月3日)、館内整理日(原則毎月第3木曜日。祝日にあたる場合は第3水曜日に休館)、特別整理期間(年1回10日以内)

Information:

2月4日(土)に赤坂図書館・多目的ホールで「勝海舟生誕200年特別講座」が行われました。引き続き4月8日(土)、5月13日(土)、6月3日(土)に開催を予定。詳細は赤坂図書館まで問合せください

INFORMATION

[インフォメーション]

地域
だより

Vol.6

放課 GO → クラブあかさか 放課後を楽しく、みんなで過ごそう!!

放課GO→クラブあかさかは、放課後の居場所作りを目的とした放課GO→と、放課後の生活の場としての学童クラブを一体的に運営している施設です。赤坂小学校内にあり、主に赤坂小学校の在籍児童が利用していますが、赤坂小学校の通学区域に住んでいる小学生も利用できます。



港区HP



学童クラブ室

これまでは赤坂小学校内の家庭科室を借りていましたが、昨年の夏休みに工事をし、学童クラブ室として生まれ変わりました。昨年11月からは、学童定員も30名から54名に増員し、新たな児童が加わりました。



GO → 室

読書やトランプなどの遊びに加え、学童同様にプログラムにも参加することができます。プログラムがない時は、校庭や体育館にも行き、外遊びを楽しんでいます。



プログラム

月に1回定例で体操講師やダンス講師を招き、運動に特化したプログラムや、自施設の職員による季節に合わせたオリジナル工作を行ったりと、さまざまなプログラムを週2、3回実施しています♪



優しい指導員の 皆さん

小学校内にある施設になりますが、機会があればぜひ施設見学に来てください。オレンジの服がトレードマークです

[赤坂・青山 地域の活動] おやじの会

おやじの会は、子ども達が参加する行事を盛り上げながら、子ども達の笑顔のため日々活動しています。

活動の内容を教えてください。

“イキメン”(地域で生き生き活躍するメンズ)として、子ども達が参加する学校行事や地域のイベントの準備・運営の補助に携わっています。

今年度は、赤坂中学校新校舎にて3年ぶりに実施された「いも煮会」に参加し、豚汁を調理するための炊き出し釜の点火を担当しました。コロナ禍に入り、学校行事などに参加できていませんでしたが、久しぶりに子ども達の笑顔を見られてうれしかったです。他にも、小中学校の運動会や氷川祭のパトロールなどにPTAの方と一緒に参加しています。

活動する中で、どのような やりがいや大変さを感じますか？

活動する中で、地域の皆さんや子ども達の笑顔が見られることにやりがいを感じます。その笑顔が、「ずっと赤坂に住み続けたい」という思いにつながると、よりうれしくなります。

他方、仕事の都合で当会になかなか参加できない方もいらっしゃいます。コロナ禍で行事が少

なくなっていることも重なって、メンバー間のコミュニケーションが希薄化することを懸念しています。そのため、定期的集まる機会を設けるなど、コミュニケーションを活性化していきたいです。

この活動について、今後 どのように展開していきたいですか？

「地域の安穏と繁栄」を目指すためには、励まし合い、助け合いながら、地域の絆を強めることが必要と考えています。当会は、お子さんが小中学校に通われていない方もご参加いただけます。今後も参加者を募りながら、皆さんと一緒に活動していき、地域のつながりを深めていきたいです。



「いも煮会」に参加しました

地域で 活躍している 方々を紹介

Vol.34

おやじの会 創設者

山部剣司さん
やまべ けんし



中学校の運動会に参加した様子

赤坂地区総合支所からのお知らせ

REPORT

「赤坂・青山 Meet upプロジェクト」を実施しました！

本プロジェクトは、さまざまな国籍の方が地域活動に参加するきっかけづくりを目的として実施しました。また、日本人と外国人が地域の魅力や課題について一緒に考えていくことで、相互に理解しあえるような関係づくりを目指しています。

令和4年度は、「防災」をテーマに、外国人が災害について不安に思っていることを解消するために何が必要か、グループワークなどを通して考えました。



「伝わる日本語」で交流しました



総合防災訓練（赤坂会場）参加の様子



さまざまなブースを体験しました



地域の「つながり」を強くするためにやってみようことを発表

赤坂・青山の魅力発信動画を配信中！



赤坂青山「知伝活」プロジェクトでは、地域の魅力発信を目的に、区民のメンバーの皆さんが中心となって、地域の景観・行事などをまとめた動画を制作しました。

以下の二次元コードより、ぜひご覧ください！

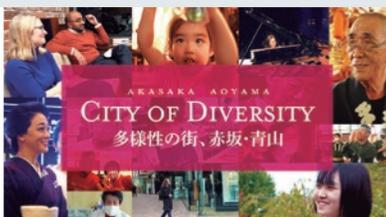
美しさと伝統のまち



「静」と「動」



Akasaka & Aoyama A City of Diversity & Inclusion



●問合せ／赤坂地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

「赤坂・青山会議」への参画企業を募集中

赤坂・青山会議

「赤坂・青山会議」とは

赤坂・青山地域で積極的な社会貢献活動を行っている事業者・教育機関などで構成される会議体です。地域の環境美化や活性化につながる取り組みなど、地域の課題解決に向けて活動しています。

活動概要

「赤坂・青山会議」を年2回開催するとともに、イベントブースでの啓発や災害用備蓄食の配布、「赤坂青山 美しいまちマナーのまち」キャンペーンなどにも参加しています。



落書き除去活動の様子



赤坂・青山会議の参画企業を募集しています！

地域課題の解決に、共に取り組んでいただける企業の応募をお待ちしています。

●問合せ／赤坂地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

地域の公園イベント情報

プチプレーパーク

日時：4月22日(土) 13時30分～15時30分
会場：高橋是清翁記念公園



ローズフェスティバル

日時：5月13日(土)・14日(日) 10時～16時
会場：氷川公園
定員：なし ※アクティビティには定員があります(先着順)

情報は随時更新!

●問合せ／高橋是清翁記念公園管理事務所
☎03-6384-5113

※今後の新型コロナウイルス等の感染状況によって変更の可能性がります。HP、SNSなどをご確認ください。



都税事務所からのお知らせ



自動車の移転手続き・廃車手続きはお済みですか？

自動車税種別割は、毎年4月1日現在、自動車検査証(車検証)に登録されている所有者(割賦販売の場合は使用者)の方に課税されます。自動車を譲渡したときは移転登録、廃車したときは抹消登録の手続きが必要です。管轄の運輸支局または自動車検査登録事務所手続きを済ませてください。

*令和5年3月31日(金)までに手続きを済ませてください。
問合せ／東京都自動車税コールセンター ☎03-3525-4066

引越しをしたときは、自動車の変更登録の手続きが必要です

引越しをしたときは、管轄の運輸支局又は自動車検査登録事務所自動車の変更登録の手続きが必要です。手続きが遅れますと、自動車税種別割の納税通知書が届かないなどのトラブルの原因となります。

やむを得ず手続きが遅れる場合は、電子申請や電話などにより、納税通知書の新しい送付先住所をお知らせください。

問合せ／東京都自動車税コールセンター ☎03-3525-4066

編集委員おすすめの【お買い物情報】

お刺身の
販売は
午後からに
なります

BEST BUY



旬のいちごを使ったショートケーキが人気です

店主の坂本さん

アラボンヌー

地元の人々に愛される
ケーキやタルトが自慢

●赤坂4-3-13 ☎03-3583-7665



赤坂4丁目の閑静な住宅街に、可愛らしい赤いひさしと白壁が目印の洋菓子店があります。店名は「à la bonne heure（アラボンヌー）」。

このアットホームで温かみのある空間は、まさしく店主が目指す“手作り感あるお店”そのもの。

このアットホームで温かみのある空間は、まさしく店主が目指す“手作り感あるお店”そのもの。

コロナ禍で最も実感したのは、「多くの地元の方にお越しいただいている」ことだそうです。おうち時間を楽しんでもらえるよう、営業日時も工夫して営業されています。

皆さんもぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



詳しいお店の情報は
こちらから



刺身は1種類ずつになっていて、お好みだけをそろえることができるので好評

青山魚仙

青山でたった一軒の
小さな魚屋さん

●南青山2-12-2 魚仙ビル1F ☎03-3401-6213

明治神宮外苑の銀杏並木の向かい側、青山通りからほんの少し入った路地に面した小さな魚屋さん、それが「青山魚仙」。

創業は昭和25年（1950）で、青山で生まれ育った現在の店主・酒巻康彦さんは三代目。ショーケースには、一尾まるごとの魚から、切り身、刺身、加工品など、小さいながら多くの種類が並んでいます。

「魚を頭からまるごと一尾売っている店は青山では他にないので、青山小学校の社会科見学で子ども達が来たことがあります。そのお子

さんが、その後お母さんと一緒に買い物に来てくれたこともありました」

店主におすすめの魚を聞いたり、好みに揃ってもらったり…、人の温もりを感じられるお店が、青山にまだ残っているのがうれしいです。



店主と母親の福子さんと2人で店を切り盛りしています



営業時間は11時から19時まで。日・祝休。港区のスマイル商品券は紙も電子も使えます

赤坂消防署からのお知らせ

こんな時…どうしよう?



病院? 救急車? 迷ったら...

#7119

こちらからもつながります 23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

救急に関する問合せ先
赤坂消防署 警防課 救急係
☎03-3478-0119
Email: akasaka2@tfd.metro.ne.jp

赤坂消防署
HP



編集後記

●平和、環境、建物、と過去から未来に繋げられる有形無形の価値に触れることができました。皆様ありがとうございました。(芦野)

●今年度も沢山のワクワク体験をさせていただき、ありがとうございました。取材を通じて素敵なお見聞がありますので、読者の皆さま、編集委員にぜひご応募ください!(上原)

●新しいエネルギーの漲るこの街で、様々な歴史ある施設の取材を通じ赤坂青山の魅力を再認識し、新たな発見をする事が出来ました。地域の皆様にお伝え出来たならば幸いです。(加藤)

●歳をとるにつれて地元愛が強くなり、昨年より参加させていただきました。街の魅力、奥深さを、もっともお伝えできるよう、面白くて役に立つ記事を作りたいと思っています。(坂巻)

●上京後ずっと港区に住んでおりますが、住んでいても気づかない街の魅力が、取材を通して認識することが多々ありました。編集委員の方々との交流も楽しみでした。(樽谷)

●一方通行でなく、地域の皆さんと一緒に楽しめる参加型、体験型の情報を届けられるように企画を考え、誌面づくりに心がけました。SDGsやレトロな建物を取材して、新たな価値観を得られたのもよかったです。(富澤)

●事務局、編集委員の皆様方、今年度もお疲れ様でした。編集委員は、私を含み人生のベテランが多いので、そろそろ若手が必要かなと思っております。(真下)

●お忙しい中、取材にご協力いただいた皆様方に感謝申し上げます。進化する赤坂、青山地域の魅力を発信し続ける情報誌をこれからも期待致します。事務局、編集委員の皆様方にも大変お世話になり、ありがとうございました。(吉満)



この情報誌は赤坂・青山地域の在住・在勤・在学者および赤坂・青山地域のために活動を希望する方々の編集委員によって作成しています。

赤坂・青山地域情報誌 第60号 令和5年(2023)3月発行 (発行部数: 25,000部)

編集: 港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会

発行: 港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13 TEL: 03-5413-7013 FAX: 03-5413-2019